

ふくしま

(題字：高船者学級受講者 福島3 梶谷 千江さん)

第115号

平成29年12月1日発行

議会だより

発行：福島町議会

TEL 0139-47-2215



■ 定例会 9月会議	P 2	■ 決算審査特別委員会	P 11
■ 定例会 8月・10月会議	P 5	■ 委員会の調査報告	P 14
■ 各議案の審議結果	P 7	■ 行政評価の概要・結果	P 18
■ 議会諮問会議からの答申	P 8	■ 会議等出席状況	P 24
■ 一般質問	P 9	■ 町民の声	P 26

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進授業
第33回カントリリーフェスティバルでの販売実践
写真提供：福島フオトサークル

定例会9月会議

定例会9月会議は、9月15日から22日まで開催されました。

条例の制定・一部改正・廃止、計画の変更、規約の変更、工事契約の議決更正、各会計補正予算・決算認定、人事案件など町長提出の議案26件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、議会提案の意見書1件を可決し、一般質問では3名の議員が、3項目について町の対応や考え方をただししました。参画者は4名でした。

■条例の制定

・福島町いじめ防止等に関する条例の制定について

【制定内容】

いじめ等により児童等の生命、心身に重大な危険が生じる恐れがあることから、平成25年6月に「いじめ防止対策推進法」が公布され、学校の実

情に応じた、いじめ防止基本方針の策定が求められました。

町としてのいじめ防止等に関する条例を制定し、いじめ防止基本方針を策定するための条例が提案され、原案のとおり可決しました。

■条例の一部改正

・特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

【改正内容】

福島町いじめ防止等に関する条例の制定に伴い、いじめ問題対策連絡協議会委員など三委員会委員を新たに加えるため、条例を一部改正しました。

■条例の廃止

・福島町土地開発基金条例の廃止

平成3年度に土地を先行取得するための目的基金として創設しましたが、土地価格の

下落の現状では、土地を先行取得する目的意義が失われているため基金条例を廃止し、現金及び土地を一般会計に繰入れすることとしました。

■契約議決の更正

・新平和橋架替（その2）工事請負契約の議決更正について

平成29年3月17日に議決した新平和橋の工事請負契約について、橋梁に添架する水道管の設計が確定したため、工事請負契約の内容を更正する議決を行いました。

■規約の変更

- ・北海道市町村職員退職手当組合の規約の変更
- ・北海道市町村総合事務組合規約の変更
- ・北海道町村議会公務災害補償等組合の規約の変更

【変更内容】

組合を構成する団体のうち、二つの団体の名称が変更となつたことから3組合の規約を変更しました。

〈 契約の変更内容 〉

契約の目的	契約金額	
	変更前	変更後
新平和橋架替（その2）工事	117,180,000円	120,236,400円



報告

■一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告

追跡調査に対応する方針等の報告が町長からありました。

■平成28年度福島町財政健全化判断比率の報告

平成28年度決算の健全化判断比率の報告がありました。

同意

○教育委員会委員の任命
佐々木幸夫氏の任命に同意しました。

○固定資産評価審査委員会委員の選任
中塚卓朗氏の選任に同意しました。

○人権擁護委員の推薦

澤田浴利氏を人権擁護委員として、適任であると答申しました。

補正予算の内容

■一般会計(第5号)追加補正

2千40万2千円を追加し、総額4億5百21万2千円となりました。

主な内容は次のとおりです。

・新たな陸上養殖技術の開発による蝦夷アワビブランド化事業

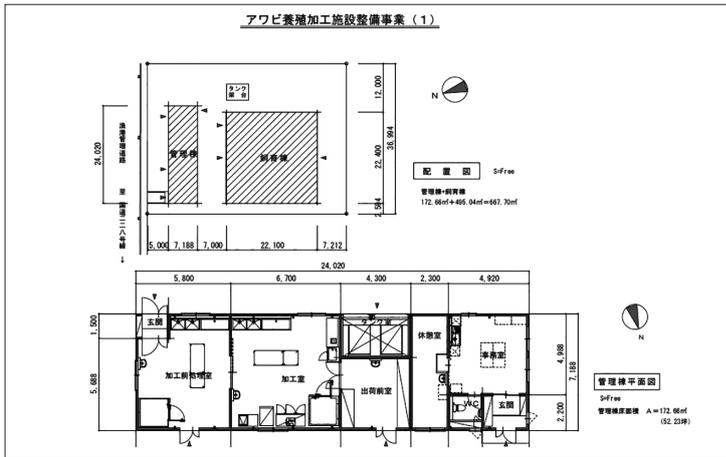
実施設計業務完了による事業内容精査に伴い事業費を追加しました。

議会提出の意見書

意見書1件を可決し、関係機関に送付しました。

■林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

下記のとおり意見書を採択しました。



林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

このような中、道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や次世代林業基盤づくり交付金等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備など、さまざまな取り組みを進めてきたところである。

また、国では市町村主体の新たな森林整備を進める財源として「森林環境税（仮称）」の創設に向けた検討を進めている。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、こうした取り組みをさらに加速し、地域の特性に応じた森林の整備を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 市町村が継続的に森林の整備などを着実に進められるよう、「森林環境税（仮称）」を早期に創設すること。税制度の創設に当たっては、都道府県の積極的なかわりのもと、森林の整備はもとより木材の利用を含め幅広く活用できる仕組みとすること。
- 2 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 3 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成29年9月22日

北海道松前郡福島町議会議長 溝部幸基

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

定例会8月会議

定例会8月会議は8月9日に開催され、町長提出の議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。参画者は2名でした。

■水産物鮮度保持施設整備工事請負契約の議決更正

製氷貯氷施設（漁組指定管理者）の工事契約について、地中障害物の除去・運搬処分費の追加により議決更正を行いました。

内容は次のとおりです。

財 源 内 訳	
変更前	228,420,000円
増 減	2,851,200円
変更後	231,271,200円

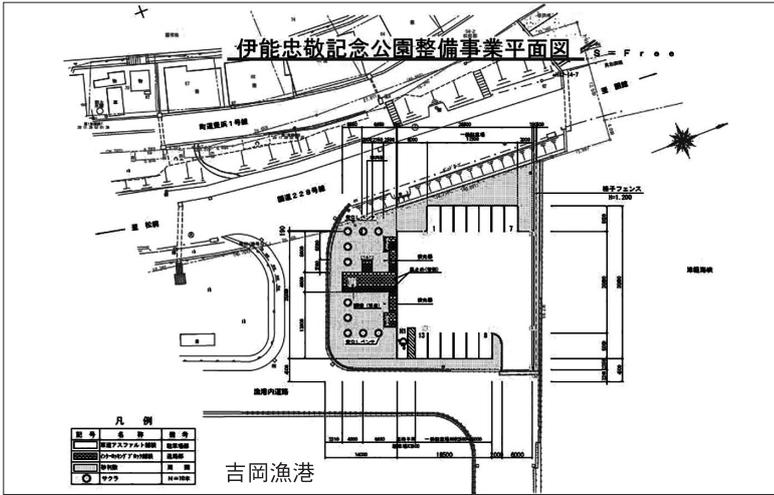
■一般会計補正予算(第3号)

3千5百50万円を追加し、総額37億9千7百23万3千円となりました。内容は次のとおりです。

○伊能忠敬記念公園整備事業費

3,400万円の追加

伊能忠敬の偉業を讃える記念公園整備事業費として追加補正しました。



○町道みどり町線整備事業費

150万円の追加

福島川河川改修に伴う、町道整備の用地購入費として追加補正しました。

■指定管理者の指定

平成29年10月から稼働予定の福島町製氷貯氷施設の指定管理者として福島吉岡漁業協同組合を指定しました。

・指定期間

平成29年10月1日から

平成34年3月31日まで

定例会10月会議

定例会10月会議は10月6日に開催され、町長提出の議案4件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

参画者はおりました。

■専決処分した事件の報告

9月29日付けで一般会計補正予算を規定により専決処分しました。

【専決処分内容】

衆議院議員総選挙（10月22日）の選挙費として9百60万1千円を追加補正しました。

■第5次福島町総合計画の変更

【変更理由・内容】

事業費等に変更が生じたため、総合計画を変更しました。
2 事業に係る事業費を3百10万円増額し、総事業費を4億2千8百69万円としました。

■一般会計補正予算(第7号)

第5次総合計画の変更などに伴い2千4百73万4千円を追加し、総額40億3千9百54万7千円となりました。

主な内容は次のとおりです。

○林内作業道整備事業費

1,300万円の追加

福島線開設に係る工事請負費を追加しました。
(総合計画変更事業)

○漁業振興施設整備事業費

610万円の追加

福島吉岡漁業協同組合が建設する水産物保管倉庫の補助金として追加しました。
(総合計画変更事業)

○船揚場維持管理費

150万円の追加

台風18号により漂着した流木、海藻等の除去費用を追加しました。

○災害対策費

198万円の追加

台風18号による災害緊急対応業務委託料等を追加しました。

○職員給与費

150万4千円の追加

台風18号の災害対応に伴う職員の時間外勤務手当等を追加しました。

■アワビ養殖加工施設整備工事請負契約の締結について

10月5日に入札を行った当該施設について、工事の予定価格が5千万円以上のため、規定に基づき議決しました。

◎工事請負契約議決の内容

契約区分	内 容
目 的	アワビ養殖加工施設整備工事
方 法	指名競争入札
金 額	93,420,000円
相 手 方	松前郡福島町字三岳154番地21 金澤・松岡経常建設工事共同企業体 代表者 株式会社 金澤建設 代表取締役 金澤 淳悦

文書質問

やまゆり荘内へ喫煙コーナーを

質問者：川村 明雄 議員

【質問】

入所者の中には、タバコの喫煙愛好者も少なくなく、喫煙に苦慮している状況があります。ロビーに喫煙を可とする場所がありますが、副流煙などによる受動喫煙や、酸素機器使用者への影響などから使用できない状況にあるようです。

煙が他の入所者に影響を与えず安心して喫煙できるコーナー等を検討してほしいと思います。

【回答】

「福島町がなんかに負けない基本条例」は、「福島町たばこ禁煙・分煙対策登録制度実施要領」に基づき町の公共施設を禁煙としています。

やまゆり荘では、酸素機器使用者や定期的に通院中の入居者もあることから、委託先である社会福祉法人福島幸愛会・入居者と協議・調整を進めながら、最低限、施設内禁煙（屋外での喫煙スペース設置）を目標として受動喫煙防止の対策を講じてまいります。

各議案の審議結果

- ・賛成が○、反対は×と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案	議員名							審査結果		
			杉村志朗	滝川明子	川村明雄	花田勇	木村隆	平沼昌平	佐藤孝男		熊野茂夫	平野隆雄
8月会議 (8/9)	13	平成29年度福島町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	14	水産物鮮度保持施設整備工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○		
	15	公の施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○		
9月会議 (9/15～9/22)	16	福島町いじめ防止等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	17	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		
	18	福島町土地開発基金条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○		
	19	第5次福島町総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○		
	20	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○		
	21	北海道市町村総合事務組合理約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○		
	22	北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○		
	23	平成29年度福島町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	24	平成29年度福島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	25	平成29年度福島町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	26	平成29年度福島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	27	平成29年度福島町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	28	新平和橋架替(その2)工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○		
	29	平成29年度福島町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	認定1	平成28年度福島町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○		原案認定及び可決
	認定2	平成28年度福島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○		
	認定3	平成28年度福島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○		
認定4	平成28年度福島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定5	平成28年度福島町浄化槽整備特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定6	平成28年度福島町水道事業会計利益の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○			
同意1	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意		
同意2	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意		
諮問1	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	原案適任		
報告3	福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告	※採決はありません。							報告済み			
報告4	平成28年度福島町財政健全化判断比率の報告											
報告5	平成28年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告											
発委3	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
10月会議 (10/6)	30	第5次福島町総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	31	平成29年度福島町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	32	アワビ養殖加工施設整備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
報告6	専決処分した事件の報告(平成29年度福島町一般会計補正予算第6号)	※採決はありません。							報告済み			

議会諮問会議から答申



答申書の手交

平成29年度の議会基本条例諮問会議は、3項目について諮問され、3回（5月22日、7月31日、10月10日）の諮問会議を経て、11月1日に答申書が村山会長より溝部議長に手渡されました。

○諮問された3項目の答申内容は次のとおりです。

1. 調査審議を求める事項

(1) 議会評価（平成28年度分）の検討

議会基本条例第17条第1項の規定に基づき、1年ごとに実施し町民に公表している議会評価については、「適正に行われている」と認めるが、次の点について検討を希望する。

① 「主要項目」及び「具体的な項目」について

福島町議会独自の特色ある活動（一般質問等追跡調査）について、評価項目として入れるべきではないか。また、評価内容が類似している項目が見られることから次年度の評価に向けて項目の整理について検討が必要である。

2. 確認を求める事項

(1) 議会基本条例の見直し検討による行動計画の確認について

平成23年11月の当諮問会議からの答申に基づいたものであり、適正に行われていると認めるが、次の点について検討を希望する。

① 整理No.1 議員間討議の推進

議員間討議の推進を図るに当たって、要綱を作成、試験的に行っている議会が幾つかあるので参考とすることを検討されたい。

② 整理No.8 「町政に対する要望・意見の取りまとめ」の活用

請願、陳情という文言を使用しているが、議会基本条例では「政策提言」としている。基本条例に合わせるべきである。

③ 整理No.12 常任委員会における行政視察の検討

「行政視察」という表現は今の活動内容に馴染まないと考える。活動内容に合った言葉を検討してはどうか。

(2) 常任委員会所管事務調査内容の確認について

平成28年度に行われた常任委員会所管事務調査の中から、新たなまちづくり法人設立から指定管理者制度導入に至る一連の調査について、調査資料や議会常任委員会意見書等により確認し、諮問委員からは次の点について意見があった。

① 指定管理者への対応について

設立された法人に公共施設の指定管理者を指定するに当たって、地域の事情から通常とは異なる公募ではなく、指名という手法で指定している。議会常任委員会ではその点を指摘しているとのことだが、無理な指定により従業員の賃金が低く抑えられる官制ワーキングプアとならないか懸念されるので、注意する必要がある。

3名の議員から一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。

職員採用にふるさと創生枠を

定員管理計画が基本、設置の考えはない

【滝川明子議員】

これまでの職員採用試験はどのようにしてきましたか？私はふるさと創生（町づくり）の熱い思いを抱く職員に期待します。

高卒で民間企業等での勤務経験がある人を対象とした「ふるさと創生枠A」と町内の中学校を卒業後、町内外の高校に在学している新卒者を対象とした「ふるさと創生枠B」を設置してはいかがでしょう？



滝川 明子 議員

【鳴海清春町長】

一般事務職は、渡島・松山町村会による管内町村職員採用資格試験一次合格者の中から面接試験を経て採用し、受験資格は初級職が21歳、上級職が30歳までで学歴は不問となっています。

また、平成27年度は社会人枠2名、平成28年度は横綱の里づくりの一環として相撲経験者を採用しており、専門的な技術職員等は、職種ごとに資格要件等を定め、論文・面接試験を実施し、平成29年度には保健師・学芸員・保育士を採用しています。

職員採用にあたっては、町村会の採用試験を原則とし、職員定員管理適正化計画を基本に、退職者の再任用希望状況等を見据えて行っており、現時点で、ふるさと創生枠の設置は考えておりません。

定住・移住促進事業の検証、今後の進め方は

今後検証を行い、若年層を中心に施策展開

【平沼昌平議員】

定住・移住の受け皿は福島町定住促進住宅基本計画等により確立されていくと思うが、ターゲットとしての「年齢層」「家族構成」「仕事内容」等の検討状況についてお聞きしたい。

また、これまで取り組んできた各事業の検証はなされたか？

利用者等の意見の取りまとめや今後の展開方向、他町に對してどのような優位性を持つて、人口減少歯止め策をかけたいくか伺いたい。



平沼 昌平 議員

【鳴海清春町長】

平成28年度までに、「定住促進住宅奨励事業」15名、「水産業担い手支援事業」14名、「農林業担い手養成事業」2名に對し奨励金等を、また、「出産祝金交付事業」は21名の対象児に交付しており、人口減少の歯止めと一定の成果を上げているものと判断しているが、制度検証を行っていないことから、総合計画後期実施計画策定に向け、検証を進めたい。

基本的な考え方については、子育て世代を含めた若年層に對する子育て支援を充実させ、こうした階層を中心に施策を展開したい。

なお、働く場と住まいの確保が最も重要であり、昆布プロジェクトや陸上養殖アワビブランド化、定住促進住宅整備事業により雇用の場・住宅の確保を図りたい。

一般質問

詳しい質問内容については、議会ホームページをご覧ください。



川村 明雄 議員

また、町立の診療所を検討して行くことも必要と思うが、お考えは？

国では、地域包括ケアシステムの構築を目指しているが、私は、「在宅医療と介護の連携」に注目しています。そこで、当町における「現在の地域包括支援センターの課題」「地域包括ケアシステムへの取り組み状況」「医師・医療施設の渡島西部四町の連携」について、北海道の構想の「病院完結型の医療」から「地域完結型医療」への転換に係る考え方について伺います。

地域包括ケアシステム・医療体制の課題は地域が支え合う中で、実情に応じた取り組みを

【川村明雄議員】

【鳴海青春町長】

地域包括支援センターは、保健師2名に加え、新規事業に、保健師・訪問介護員各1名を配置し体制強化を図っているが、今後は介護・医療の連携が重要です。地域包括ケアシステムについては、関係機関と検討会等を進めています。木古内及び松前病院等と将来的な医療・介護も含めた広域連携の可能性について意見交換をしています。医師招聘問題については、引き続き後任医師確保に向けて要請しています。住民主体で地域が支え合う中で、地域の実情に応じた取り組みを目指す必要があります。また、今後は、町立の診療所も視野に入れて行きたいと思えます。

議会ホームページから ライブ中継・過去の会議映像が視聴できます！

議会ホームページより議会のライブ中継や過去の会議映像が視聴できます。

下記のURLからアクセスし、ご覧ください。

福島町議会
Fukushima Town Council

議会映像
議会改革の取組み
会議資料・映像
一般質問等答弁事項進捗状況
調査
会議・行事予定
議会だより
議会用議集
関係例規集
行政視察の受入れ

本会議 委員会 議会だより 議会白書 ライブ配信

新着情報
2017年11月15日
経済福祉常任委員会を更新しました。
2017年11月15日
決算審査特別委員会 (2日目) を更新しました。
2017年11月15日
決算審査特別委員会 (1日目) を更新しました。
2017年11月15日

カレンダー/今日の予定
2017年11月
日 月 火 水 木 金 土

○議会ホームページ

<http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

(リンク先：福島町ホームページ)

<http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/>

ホームページをご覧になり、ご感想、ご意見がございましたら下記メールアドレスにお願いいたします。

○議会メールアドレス

gikai@town.fukushima.hokkaido.jp

全6会計を認定

総額54億8,807万6千円



平野隆雄決算審査特別委員会委員長

平成28年度決算審査は、定例会9月会議で平野隆雄委員長ほか8名（議長を除く）の議員により構成する「決算審査特別委員会」を設置し、9月20日から21日までの2日間、一般会計を含む6会計について審議が行われ、各事務事業に対して質疑・意見交換が行われました。

主な内容は12頁から13頁に掲載しています。

平成28年度の各会計決算額

(単位：千円)

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引
一	般 会 計	3,945,645	3,865,018	80,627
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	959,059	889,545	69,514
	介護保険特別会計 (保険事業勘定)	575,764	546,930	28,834
	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	3,318	3,318	0
	後期高齢者医療特別会計	61,493	61,219	274
	浄化槽整備特別会計	43,579	43,579	0
	水道事業会計	111,366	78,467	32,899

■総務費

問 出産祝金交付事業で申請しない人たちの把握やPRが必要ではないか？
(溝部幸基議長)

■答

制度の周知は、対象者が母子手帳や健診時にPRしており、申請しない理由は転勤族、税を滞納しているなど、対象にならないと理解し申請していないと思う。それらの個人情報、行政内部でも、事業の把握のために情報を活用することはできない。

■民生費

問 子育て支援センターが増築し、環境が充実したが、保護者にとって重要な子育て情報の提供はどのように行っているか？
(平沼昌平議員)

■答

保護者はほとんどスマホを所有しており、独自に情報も得ているが、「子育ての基本」や「大事にしたこと」などをアドバイス、「ほのぼのサロン」の紙面で毎月情報提供している。



子育て支援センター

■衛生費

問 火葬場の運営は、臨時職員も含めた体制に変化してきているが、臨時職員の服装に統一性を持たせる工夫をしては？
(熊野茂夫議員)

■答

現在、制服にするか統一した服装にするかなどを検討中である。

■農林水産費業費

問 築15年になる活性化センターの外壁が傷んで来ている。また、以前から要望している駐車場の外灯の利用はどうなっているか？

(佐藤孝男議員)

答 外壁については、公共施設維持保全計画のなかで対応したい。外灯については、調査のうえ遅くとも来年度までに利用できるようにしたい。

問 ウニ移殖放流事業は、同地区の深浅移殖だけでなく、地区を変えた移殖もあるのか？

(花田勇議員)

答 この事業では同地区の深浅移殖だったが、組合単独の事業で、ウニ密度の濃い箇所で実入りが悪いものを、地区を変えて移殖しているという事は聞いている。

問

横綱ビーチは、海水浴期間の1カ月以外使えないと誤解している人が多い。PRが必要ではないか？

(川村明雄議員)

答 海水浴期間以外にも5〜11月の9時から17時までは駐車場も開放している。管理主体は北海道であり、道にお願いしながら使い勝手の良いものにしていきたい。



ウニ深浅移殖

■教育費



横綱ビーチ

問 町民プールの花壇の草取りや敷地内の管理などが不十分だと見ているが、どうか？

(杉村志明議員)

答 予算の範囲の中で委託業者は良くやっていると認識している。予算が足りないのであれば予算を上積みして対応したい。

問

福島商業高校存続対策費の検定等補助は合格者のみ補助と思うが、全員に補助してはどうか？

(滝川明子議員)

答 以前は、合格者のみだつたが、人材育成事業の導入に合わせ、合格者は全額補助、不合格者も50%補助に改正している。



福島商業高等学校出前講座の授業風景



平成28年度 議会費の使われ方

(単位：千円)

区 分	H27	H28	平成28年度の支出概要
報 酬	22,603	22,803	<ul style="list-style-type: none"> ・歳費22,764 【月額歳費】 議長259、副議長207、委員長187、議員174 ・諮問会議委員報酬39
給 料	11,764	12,123	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局職員 3 名分
手 当 等	13,310	15,622	<ul style="list-style-type: none"> ・議員期末手当9,163 【議長1,251、副議長1,000、委員長（3人）2,710 議員（5人）4,202】 ・職員期末手当6,459
共 済 費	21,325	15,464	<ul style="list-style-type: none"> ・議員共済等負担金8,514、職員共済費6,396 ・臨時職員社会保険料等554
賃 金	1,877	1,922	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金（1名）
報 償 費	0	0	
旅 費	1,347	2,317	<ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費529 ・視察研修旅費1,301 ・職員旅費109 ・同行旅費304 ・委員旅費63 ・委員費用弁償11
交 際 費	176	179	<ul style="list-style-type: none"> ・祝儀33、土産29、香典50、供花14、後援18 協賛金18、会費18
需 用 費	901	858	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費196 ・追録代 9 ・購読料35 ・食糧費9 ・議会だより印刷製本費609
使 用 料 ・ 賃 借 料	157	161	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットサーバスペース使用料39 ・議会インターネット中継回線利用料122
備 品 購 入 費	303	0	
負 担 金 ・ 補 助 ・ 交 付 金	623	1,296	<ul style="list-style-type: none"> ・管内議長会等353 ・四町議員協議会85 ・議員公務災害補償組合負担金等69 ・政務活動費789
償 還 金 ・ 利 子 ・ 割 引 料	2	1,117	<ul style="list-style-type: none"> ・議会中継システム譲受代金年賦金 1,109 ・議場等音響設備譲受代金年賦金 8
合 計	74,388	73,862	※事務局職員3名分の給料等は「職員給与費」に計上されているため、議会費の決算額とは一致しません。

【調査概要】 H29. 8. 9開催

平成6年度から平成15年度にかけて整備を進めていた町道福島月崎幹線整備事業で唯一未整備区間だった新栄町地内の用地地権者と協議が整い、事業実施に向けて作業を進めることと併せて、要望のあった町道公営住宅線の歩道の拡幅事業についても計画が示されたことから内容を確認・調査したものであり、調査結果は、以下のとおりです。

町道福島月崎幹線整備事業等について

【論点と意見】

**現道の法線が変更となるため
隣接住民と協議を！**

1. 町道福島月崎幹線整備事業等について

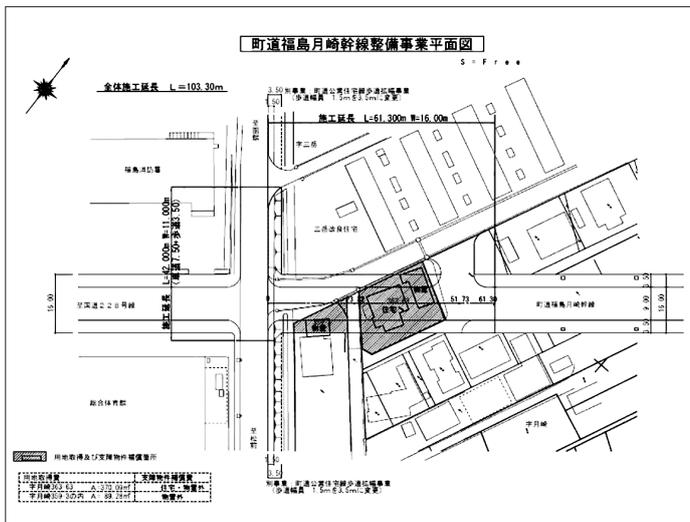
今回示された2路線に係る事業計画の内容については、現道（三岳1号線）との取り付けや未計画部分（小学校から海岸まで）への対応等の課題があるものの、条件が整った箇所については事業を進める必要があると思慮するものであり、委員会として了承するが、以下の点について留意・検討されたい。

①町道福島月崎幹線外整備事業について

資料のとおり道路が整備された場合、現在、改良住宅に面している道路（三岳1号線）が公営住宅線から切り離されることになる。現道については隣接一般住宅の関係もあり、今回、変えることは考えておらず、今後、公営住宅の建替えも含めた全体的な計画の中で町内会、公営住宅入居者及び隣接住民に対し説明等をしていくとのことなので、その際は住民の意見をしっかり聞きながら対応されたい。

②財源について

事業の財源として社会資本整備交付金と過疎債を見込んでいるが、交付金の補助率が事業費の30%と低く、相当額の一般財源の持ち出しが予想されている。道路財源は厳しく、現状はこれがベストとして進めているとのことだが、当初計画段階から大きく変化した町の現状を考えると、大きな負担をするだけの道路の需要、住民要望があるのか疑問でもあり、一般財源の持ち出しを軽減する努力をされたい。



町道福島月崎幹線



町道公営住宅線

【調査概要】 H29. 8. 24開催

前回調査（平成29年4月28日）を受け継続調査とした福島町定住促進住宅基本計画、建設用地取得について、委員会意見等を踏まえた町の基本的な考え方が示されたため、内容を調査したものであり、調査結果は、以下のとおりです。

福島町定住促進住宅基本計画・建設用地取得について

【論点と意見】

理解を求め、購入価格を安く！

1. 取得予定の用地について

これまでの経緯から用地を購入せざるを得ないと思慮するが、示された予定価格は、所有者が業者に依頼し算出した不動産鑑定価格を根拠としている。比較参考資料として示された公示価格は地目が異なり、予定価格が適正かを判断するのは困難である。

公簿面積の齟齬についても、実測面積が示され、大きく上回ることが明確となった。公簿面積での資産税納付、過疎化が進行する状況下での土地・住宅の実情等を考慮すると、実測面積による土地の取得に当っては、購入価格をできるかぎり抑えなければ町民の理解を得ることは難しいと思慮する。所有者にこれまでの経緯・実情を十分説明し、理解していただくよう、交渉されることを望む。

2. 定住促進住宅計画について

予定では、平成30年度に基本計画を策定し、平成31年度に建設事業実施となっている。前回示された素案では、建設単価が地元の民間業者より高額であり、事業費の抑制等が必要と思慮する。若者定住対策の趣旨等に配慮し、地元建築業の若い後継者を策定委員としていることから、若者の意見を活用した事業展開も含めて慎重に対応されたい。

福島町いじめ防止等に関する条例の制定について

【論点と意見】

もっと分かりやすい条例に！

【調査概要】 H29. 8. 24開催

国の「いじめ防止対策推進法」（平成25年6月制定）で、いじめ防止対策の基本方針策定などを求める地方自治体の責務が明らかにされた。町教育委員会から「福島町いじめ防止等に関する条例(案)」、「同施行に関する規則(案)」、「基本方針(素案)」が示されたことから、内容を調査したものであり、調査結果は、以下のとおりです。

1. 福島町いじめの防止等に関する条例の制定について

条例制定は必須ではないとのことだが、「学校いじめ防止基本方針」が策定を義務付けられており、各学校においてすでに策定されている。法の趣旨に配慮した本来の順序は、町の条例、基本方針を示し、学校の基本方針が作られるものであり、もっと早い段階で取り組む必要があったと思慮する。

条例は対象である子供を始め広く町民に知らしめる必要があり、条例(案)は国や道、先行自治体を参考にして作られたためか非常に難解となっている。何時おきるか分からない「いじめ」に対応するため条例の制定を急ぎたいとする考えは理解するが、対象となる児童生徒、保護者、教員等へ配慮し、もっと分かりやすい福島町の状況に合った条例とすべきであり、周知方法と合わせて検討願いたい。



(1) 基本方針と組織について

条例(案)では、いじめへの対応のため複数の委員会等を設置するとしているが、類似の諮問機関があることから、人材確保の難しさ、有効的活用を加味し、既存組織の活用を検討すべき。

(2) 重大事態の対処について

重大事態の対処については、基本指針(素案)に示されているが、事実調査・結果報告のみであり問題の解決については示されていない。解決が最優先であり、そのアプローチが重要なことからその点について検討されたい。

【調査概要】 H29. 10. 26開催

所管する関係施設・事業等の課題や問題点を把握するため町内視察を実施しました。

また、平成29年度の町執行方針について、それぞれの委員会で所管する施策に対して取り組み状況の確認を行いました。主な調査意見は以下のとおりです。

【所管関係施設・事業等の視察】

・教育コンピューター等整備事業

タブレットの基本的な取扱について、子供達の習熟度に差が見られ、授業が計画通り進んでいない印象を受けた。

次年度から、小中全児童生徒にタブレットを与え授業展開していく上で基本操作の習熟が重要であり、そのことが学習意欲を増進させるパーツとして有効活用できる大きな要素となるものと思慮する。

I C T活用の位置付けを明確にし、指導体制を整え、有効活用に取り組むことを望む。



福小タブレット授業

【所管関係施設・事業等の視察】

・公共施設の維持管理等について

公共施設、特に各会館の再編成について、町長が新たな考え方をもって対応していくとのことから、吉岡総合センター建設にあたって開催した特別委員会の経緯も踏まえて慎重に対応願いたい。

・高等学校存続対策について

公立高校の再編基準が緩和されたことは、これまで関係機関を始め様々な要望活動を行ってきた成果であり、その努力に敬意を表します。今後も引き続き高等学校と連携し入学者の確保に万全を期されたい。

・産学官との連携強化について

現在、各学校で行われている出前講座については、児童・生徒にとって有意義な授業と思うが、産学官の連携による協定時から状況が変化してきていることから、出前講座を始め、各大学と連携して実施している事業について、所期の目的に沿った実績の検証を行い、それぞれの大学の特色を生かした事業内容の見直しを検討されたい。

・防災について

防災計画については、北海道から日本海沿岸津波浸水予想水位が示され次第、見直すと、これまで議会に説明してきたが、北海道が情報提供できないとのことであり、その理由は納得できるものではなく、北海道の対応は非常に遺憾である。

町においては、引き続き北海道に対し当町の地理的状況等を説明し、その対応について議会に説明するよう求める。

なお、北海道からの情報提供（津波浸水予想水位等）が整理され次第、早急にハザードマップの見直しを進められたい。



福小出前講座授業

総務教育

〈視察施設等〉

- ・吉岡小学校アスベスト対策事業
- ・教育コンピューター等整備事業（福島小学校）

経済福祉

【調査概要】

H29. 10. 23 町内視察
H29. 10. 25 執行方針確認

〈視察施設等〉

- ・小規模治山事業
- ・普通河川河道整備事業
- ・町道吉野館崎線整備事業
- ・伊能忠敬記念公園整備事業
- ・新緑公園整備事業
- ・横綱記念館落雪防止柵設置事業
- ・新平和橋架替事業
- ・福島町製氷貯氷施設
- ・町道月崎団地7号線整備事業
- ・観光案内看板等整備事業

【所管関係施設・事業等の視察】

・伊能忠敬記念公園整備事業

公園駐車場の入口が狭隘に感じる。このままでは大型車が入れないことから、漁港内のスペースを観光シーズンだけでも大型車専用駐車場として利用できるように北海道開発局と協議が必要ではないか。

また、漁港道路擁壁を利用して伊能翁の足跡や測量風景を描くなど、蝦夷地測量の一步がこの吉岡から始まったことをアピールすることが必要と思慮する。



伊能忠敬記念公園整備事業（鳥瞰図）

【執行方針の取り組み状況の確認】

・早取り昆布を利用した食べる昆布プロジェクトの推進について

同プロジェクトは3年を目途に実施しており、必要とする昆布の数量や経費等の課題もあると思うが2年目以降もスムーズな展開を期待する。

なお、プロジェクトを進めるにあたっては、協力している地元水産加工業者としっかり連絡調整を行い、今後の予定について十分説明するよう指摘する。

・総合調整に基づく支援策について

今回示された森林組合への支援策は具体的内容まで提示されていないが、平成30年度の事業から実施されることから早急に具体案を提示されたい。

なお、以前の所管事務調査報告書で示した経理事務のシステム化や事業進捗が見えるような対策については、着実に実施するよう検討願いたい。

・新たな観光資源の開発について

新たな観光資源として「岩部海岸のクルーズ船事業」を来年4月から運航するとしているが、課題が多く、準備する時間が足りないように感じる。新たな観光では最初に与えるインパクトが大事であり、運行時期に拘らずしっかり準備して始めることを検討されたい。



議会による行政評価

町では、まちづくり基本条例に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、平成28年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例に基づく決算説明資料として議会に提出しています。

議会では、「議会による行政評価（事務事業評価）要綱」を定め、それぞれの事務事業について議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化するとともに、併せて翌年度の予算へ反映させることとしています。

全議員が1事業ずつ評価した結果及び評価方法は次のとおりです。

◎議会の行政評価結果概要

1. 総務教育常任委員会の内容（H29. 10. 30開催）

評価は41件の事務事業で、町の最終評価は、「現状にて事業を継続又は拡充」とする「A」が40件、「事業規模、内容の見直しが必要」とする「C」が1件となっています。

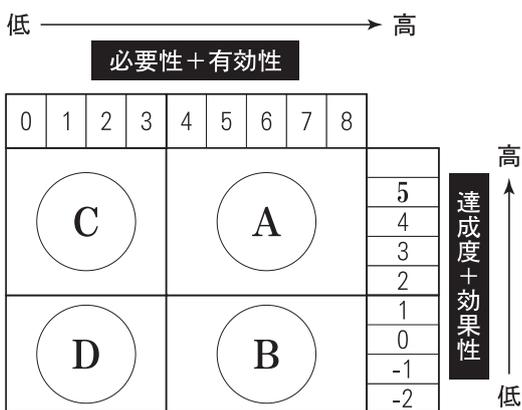
議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が5件、「概ね評価できる」とした「○」が35件、「やや不足している」とした「△」が1件となりました。

2. 経済福祉常任委員会の内容（H29. 10. 31開催）

評価は30件の事務事業で、町の最終評価は、「現状にて事業を継続又は拡充」とする「A」が30件となりました。

議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が1件、「概ね評価できる」とした「○」が26件、「やや不足している」とした「△」が3件となりました。

〔町の評価表〕



① 評価の分類

- A = 「現状にて事業を継続または拡充」
- B = 「事業の進め方の改善・検討が必要」
- C = 「事業規模、内容の見直しが必要」
- D = 「事業の抜本的見直しの検討」

② 評価表の見方

「必要性+有効性」の点数と「達成度+効果性」の点数が交差したところが評価となる。例えば、必要性+有効性が5点、達成度+効果性が1点の事業は「B」の評価となります。

〔議会の評価方法〕

議会による行政評価（事務事業評価）要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した4段階評価を行い、「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としています。

なお、平成27年度からは評価点数ではなく、行政で評価した内容と議員が認識している評価対象事業の内容を総合的に判断し、

「◎」十分評価できる 「○」概ね評価できる 「△」やや不足している
「▲」不足している の4段階評価としています。

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

(単位：千円)

事務事業名 (平成28年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.1 会議録調整費 2,204	臨時職員1名を雇用し会議録を作成している	5	2	A	A	A	A	◎	引き続き迅速な会議録作成を期待する。
No.2 情報公開費 784	議会だより発行、議会ホームページ運用経費ほか	5	2	A	A	A	A	◎	住民に興味を持って見てもらえるような工夫を期待する。
No.3 職員研修費 3,047	職員の研修計画に基づいた研修の実施	4	3	A	A	A	A	○	知識研修・接遇研修、専門的研修の質的向上を図り、メンタルヘルスの研修も検討願いたい。
No.4 車両管理費 7,847	公用車両の適正な管理	4	3	A	A	A	A	○	引き続き各車両の利用に当っては点検管理の徹底を図られたい。
No.5 交通安全対策費 3,066	町民に対しての交通安全啓発活動	5	0	B	A	A	A	○	指導員の高齢化に対応した体制と、効果的な啓発の工夫を図られたい。
No.6 町民運動対策費 (青少年外) 117	青少年問題協議会の開催、松前地区防犯協会への助成金の交付	6	2	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。広報紙や防災無線の活用、町内会事業の位置付けなど事業の見直しを図っては。
No.7 電子自治体推進費 1,880	庁内LAN系の電子機器の管理	4	2	A	A	A	A	○	庁内ネットワークにより労務の効率化が図られている。町民に対する情報提供の充実に向けた検討が必要。
No.8 インターネット事業費 1,906	役場庁舎及び外部公共施設のインターネット環境の維持保全	4	3	A	A	A	A	○	引き続きセキュリティ対策に努め、インターネット利用拡大に向けた取り組みを期待する。
No.9 生活館等管理費 1,008	町内15生活館等を適正に維持管理する	6	3	A	C	C	C	△	公共施設維持保全計画の基本方針に基づいた適切な判断を！
No.10 災害対策費 3,619	防災機器の整備、防災資材確保、防災訓練等、住民の安全な生活環境を守る	7	2	A	A	A	A	◎	戸別受信機の利用状況を調査のうえ、メンテナンスの継続が必要。
No.11 町内会連合会助成費 315	福島町町内会連合会の活動を支援するための助成金の交付	5	3	A	A	A	A	○	住民との協働の核となる大事な組織。高齢化が課題だが、他町村の取組みも調査し、行政と対等の立場で活動できる方策の検討が必要。
No.12 文書広報費 2,254	町広報紙の発行	4	2	A	B	B	B	○	広報編集会議をしっかりと開催し、掲載内容を分析のうえ町民にわかりやすい広報紙発行を。
No.13 町民運動対策費 (コミュニティ) 45	コミュニティ運動推進協議会への助成金の交付	6	2	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。広報紙や防災無線の活用、町内会事業の位置付けなど事業の見直しを図っては。
No.14 バス待合所管理費 1,742	バス待合所(5カ所)の維持管理	5	3	A	A	A	A	○	今後も利用者にとって快適な環境づくりに期待する。
No.45 教育委員会費 1,808	政治的中立性や継続性、安全性の確保、地域住民の意思の反映のため、全国すべての自治体に設置	10	3	A	A	A	A	○	今後とも、町の教育の状況を的確に把握し、活発な議論を期待する。

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

(単位：千円)

事務事業名 (平成28年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.46 教育関係団体・大会 参加助成費 14,959	教職員団体への助成、児童 生徒の全道・全国大会参加 費用の助成、学校給食費の 無償化	8	4	A	A	A	A	○	各種団体等の状況等を十分把握のうえ、 助成事務を執行されたい。
No.47 福島商業高等学校 存続対策費 6,285	入学時の奨励金や検定受験 等の助成ほか	7	2	A	A	A	A	○	高校と連携のうえ魅力ある学校づくりに 邁進されたい。
No.48 友好町交流事業費 971	長野県木曾町、長崎県松浦 市との中学生交流	6	4	A	A	A	A	○	三市町交流事業を維持するとともに、 墨田区等新たな交流の展開を検討され たい。
No.49 A L T 招致費 8,617	英語指導助手 2 名招致	7	5	A	A	A	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No.50 児童生徒輸送費 6,420	児童生徒の通学、学校行事、 各種大会参加等への輸送	9	3	A	A	A	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
No.51 就園・就学奨励援助費 3,671	私立幼稚園就学奨励費、特別 支援学級奨励費、要・準 要保護就学援助費の交付	8	5	A	A	A	A	◎	引き続き対象世帯の経済的負担を支援 していくこと。
No.52 奨学金貸付費 5,860	経済的理由により高校、大 学等に就学が困難な学生へ の奨学金貸付	9	4	A	A	A	A	○	国の状況を見ながら給付型奨学金の検 討を進めること。
No.53 基礎学力向上支援 事業費 1,158	中学校生徒個々の基礎的理 解度の向上支援授業、小中 教諭の先進地視察研修	6	5	A	A	A	A	○	時代の流れに応じた独自の支援策を展開 されたい。
No.54 教員住宅整備事業費 1,959	教員の生活拠点となる住環 境の整備・管理	5	3	A	A	A	A	○	計画的な整備に努めること。
No.55 私立学校振興費 698	私立幼稚園への管理運営費 の助成金交付	6	4	A	A	A	A	◎	幼児教育の充実が図られている。
No.56 小学校管理費 33,346	小学校の適正な管理運営、 学校施設等の維持整備	10	3	A	A	A	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設 の長寿命化対応等に努められたい。
No.57 中学校管理費 14,203	中学校の適正な管理運営、 学校施設等の維持整備	10	3	A	A	A	A	○	生徒が快適な環境で学習できる施設の 長寿命化対応に努められたい。
No.58 学校給食センター費 25,771	児童・生徒への学校給食の 充実	8	3	A	A	A	A	○	地元食材の利用割合を上げ、メニュー に工夫を加え、残さず食べられるおい しい給食の提供に努められたい。
No.59 学校給食センター施設 維持管理費 2,195	学校給食センターの施設・ 設備等の維持管理	7	2	A	A	A	A	○	給食の提供に支障のないよう、安心安 全な維持管理に努められたい。
No.60 社会教育総務費 486	社会教育の全般的な推進	6	3	A	A	A	A	○	今後とも、町の社会教育の状況を的確 に把握し、社会教育委員の活発な議論 と事業展開を期待する。

(単位：千円)

事務事業名 (平成28年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.61 読書活動費 6,378	図書室（福祉センター内） の運営	11	3	A	A	A	A	○	これからも、より町民に親しまれるよ うな運営を期待する。
No.62 成人教育費 717	学級講座開催、ブックスター ト事業・高齢者学級の運営、 ふくしま女性の会・PTA 連合会の運営費助成	7	3	A	A	A	A	○	異世代間の交流が図られているが、引 き続き住民ニーズを把握し、リーダー 養成に努められたい。
No.63 青年教育費 239	教育委員会主催の成人式、 実行委員会（新成人）主催 の成人祭の開催運営助成	7	3	A	A	A	A	○	成人式の在り方の検討を進めると共に、 青年教育の新たな展開を検討されたい。
No.64 少年教育費 302	小中学生を対象とした青少 年主張大会、吉岡小学校学 校開放事業、少年対象講座 の開催	7	3	A	A	A	A	○	通学合宿や福島学ジュニアなど新たに 事業も取り入れているが、さらに積極 的な展開を期待する。
No.65 芸術・文化費 677	芸術鑑賞事業、文化団体組 織育成事業	7	3	A	A	A	A	○	新たな展開を期待する。
No.66 文化財保護費 5,902	文化財調査委員会議の開催、 伝統文化の保存・伝承、文 化財保護思想の普及	8	3	A	A	A	A	○	学芸員の活動環境を整備し、専門的な 文化財保護活動を期待する。
No.67 保健体育総務費 3,349	スポーツ推進会議の開催、 各種社会体育事業、各団体 への運営費助成	6	3	A	A	A	A	○	町の保健体育の状況を的確に把握し、 スポーツ推進委員の活発な議論と事業 展開を期待する。
No.68 総合体育館運営費 9,688	総合体育館施設の維持管理 運営	6	2	A	A	A	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努め られたい。
No.69 町民プール運営費 7,185	町民プール施設の維持管理 運営	7	2	A	A	A	A	○	安全対策に万全を期して管理されたい。
No.70 ファミリースポーツ 公園管理費 4,565	ファミリースポーツ公園 (パークゴルフ場) 施設の 維持管理運営	6	3	A	A	A	A	○	利用者の増加につながるよう、初心者 のための事業などのPRに一層努力され たい。
No.71 福祉センター運営費 14,119	福祉センター施設の維持管 理運営	7	2	A	A	A	A	○	施設の適切な維持管理に努められたい。

来年度の評価に向けて【両委員会共通意見】

- ① 現在の事務事業評価は、基本的に予算の「目」に沿って評価しているため、事務事業名の最後に「費」と入っているが、実質的には事業費だけではなく事業そのものを評価することが基本であると考えことから、事務事業の区分けについて検討が必要。
- ② 町の資料（事務事業評価シート【町長部局】）に、一部教育委員会部局の記載があるが、教育委員会部局は別に評価していることから、町長部局の資料とは分け重複をさけた方がよい。

経済福祉常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

(単位：千円)

事務事業名 (平成28年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.15 戦没者追悼式 287	戦没者を追悼する式典	5	2	A	A	A	A	○	遺族会とも協議のうえ、戦争の無い平和の誓いを全町的に行う行事として新たな展開の検討が必要です。
No.16 社会福祉費 1,428	社会福祉団体への補助金 (社会福祉協議会外)	4	2	A	A	A	A	○	引き続き高齢者や低所得者の生活安定のため、社会福祉業務全般について適切に執行願いたい。
No.17 高齢者行事費 2,228	敬老会、高齢者スポーツ大会の開催	5	2	A	A	A	A	○	全町的な行事の継続については評価します。今後とも趣向を凝らし参加者に楽しんでいただけるよう期待します。
No.18 在宅福祉事業費 465	老人クラブ連合会への補助	5	2	A	A	A	A	○	老人クラブの活発な活動に期待します。
No.19 吉岡総合センター管理運営費 6,726	吉岡総合センターの維持管理	4	2	A	A	A	A	○	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
No.20 学童保育費 4,119	授業終了後の保育に欠ける学童の保育	6	2	A	A	A	A	○	教育委員会と連携し、特色を持った運営を期待する。長期休暇で帰省の町出身者児童の利用について検討願いたい。
No.21 ごみ減量化対策費 0	家庭から排出される生ごみの自家処理機購入に対する助成	7	0	B	B	B	B	○	可燃ごみ排出量は減少しておらず、生ごみの水切りの徹底や住民が実行しやすい効果的な対策を進められたい。
No.22 保育所費 22,434	福島保育所（定員60名）の運営	7	3	A	A	A	A	○	将来を見据え、年齢バランスを考えた正職員の採用を検討願いたい。
No.23 社会福祉総務費 868	社会福祉団体活動支援、高齢者・障がい者福祉増進、寝たきり老人介護者手当支給	6	3	A	A	A	A	○	社会福祉業務全般について、適切に執行願いたい。
No.24 重度心身障がい者タクシー料金助成事業費 448	病院等へ通院するためのタクシー料金の一部を助成	5	3	A	A	A	A	○	引き続き適切に執行願いたい。
No.25 老人福祉費 237	高齢者等に生活支援サービスを提供し、緊急時の連絡体制の整備を図る	5	3	A	A	A	A	○	検証を行い、高齢者に対する利便性のある事業として一本化することも必要ではないか。
No.26 介護予防・生活支援事業費 1,860	要介護とならずに自立した生活ができるよう介護予防生活・支援サービスを行い、要介護者への移行を防止する。	7	2	A	A	A	A	○	65歳以上という対象年齢の再検証が必要ではないか。
No.27 健康づくり推進費 998	健康づくり推進員の配置等による町民の健康増進	6	2	A	A	A	A	○	健康づくり推進員制度の原点に立ち返り、保健師と連携しながら事業を進められたい。
No.28 医療対策費 (保健衛生総務費) 433	在宅当番医制運営事業への負担金、保健師等に対して修学資金貸付	5	1	B	A	A	A	○	貸付条件は、完全給付型も含め再検討されたい。
No.29 医療対策費 (医療対策費) 2,368	子ども医療費に係る福祉医療システムの管理、日曜当番医制による町民健康保持	7	3	A	A	A	A	○	広域的な取り組みを進められたい。

(単位：千円)

事務事業名 (平成28年度事業費)	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.30 老人保健費 109	40歳から64歳の町民の疾病の予防、治療、機能訓練等の健康増進事業の実施	7	4	A	A	A	A	○	リハビリ環境（在宅・施設）を充実させるための検討が必要です。
No.31 活性化センター管理 運営費 735	「あづま〜る」施設の管理運営	5	1	B	A	A	A	○	地域文化の活動拠点としての利用と、食や歴史等の町内外への情報発信を期待する。
No.32 多面的機能支払交付 金事業費 424	多面的機能支払交付金事業を実施している団体への活動経費の交付	5	2	A	A	A	A	○	地域活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.33 熊等による被害対策費 2,577	熊等の有害鳥獣の被害防止と危険個所の巡回	6	3	A	A	A	A	○	熊や鹿などの個体数も増えており、ハンターの確保が必要なことから、助成措置の拡大や捕獲後の人的協力体制の確立など検討願いたい。
No.34 利子補給事業費 981	漁業者への貸付に対する融資機関への利子補給	8	3	A	A	A	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務を進められたい。
No.35 水産加工振興協議会 補助費 360	協議会の運営に対する補助	6	2	A	A	A	A	○	原料の高騰が進んでいることから、当該補助の検証をしながら、基幹産業に対する振興策を検討願いたい。
No.36 水産多面的機能発揮 対策事業費 599	水産業が持つ多面的機能を発揮させるために活動している組織への支援	5	2	A	A	A	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.37 漁村環境改善総合セ ンター運営費 500	福島・吉岡漁村環境改善総合センターの管理運営	5	2	A	C	C	C	△	福島は改修しながら現状維持に努められたい。吉岡については議決に基づく解体の方向で進められたい。
No.38 労働所費 502	雇用保険の手続き、職業紹介、職業援護相談所への助成	9	2	A	A	A	A	△	福島職業援護相談所の在り方を含めて抜本的な事業の見直しが必要です。
No.39 地場産業開発研究事 業費 800	福島町地場産業開発研究会への補助金の交付	6	1	B	B	B	B	△	活動内容が見えにくいので、実績を検証しながら効果的な活動の展開に期待します。
No.40 観光振興費 5,965	観光協会への補助、新聞、ラジオ等を活用したPR事業	8	1	B	B	B	B	○	まちづくり工房への支援体制の充実・強化も念頭にすすめられたい。
No.41 横綱記念館管理運営費 9,563	横綱記念館の管理運営	5	2	A	A	A	A	○	貴重な資料を無駄にすることなく両横綱の偉業を顕彰し大切に引き継いでいく努力を。
No.42 特産品センター管理費 1,095	特産品（スルメ、コンブ）販売施設の管理運営	8	3	A	A	A	A	○	道の駅としての評価が低い現状を踏まえ、内容充実を図るための再検討が必要です。
No.43 青函トンネル記念館 管理運営費 5,608	青函トンネルの工事記録や技術情報、等のトンネル文化を後世に伝える施設の管理運営	7	2	A	A	A	A	○	情報発信が不足している。イベントも含めて積極的な施設の利活用を考え、第2の青函トンネル構想などの企画展示に積極的に取り組まれたい。
No.44 街灯料助成事業費 2,962	街路灯設置及び街灯料の助成	7	3	A	A	A	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。

23 福島町議会だより

- 第115号 平成29年12月1日発行 -

◆ 会議等出席状況 ◆

会議や議会へ通知があった行事等の8月から11月までの出席状況をお知らせします。

「○」は出席、「×」は欠席、「－」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	杉 村	滝 川	川 村	花 田	木 村	平 沼	佐 藤	熊 野	平 野	溝 部
H29. 8月2日	正副議長会議	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○
9	議会運営委員会	－	○	○	○	－	○	－	○	職	職
9	定例会8月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	経済福祉常任委員会	○	－	－	○	－	○	－	○	○	○
14	平成29年度福島町成人式	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
21～22	議会広報研修会（札幌市）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
23	道南林活議連役員会（函館市）	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－
23	訓子府町議会行政視察受入れ	－	－	－	－	－	○	－	－	○	○
24	総務教育常任委員会	◎	○	○	－	○	－	○	◎	○	○
28	那須塩原市議会視察受入れ	－	－	－	－	－	○	－	－	○	○
29	渡島・桧山町村議会議長会連絡会議（江差町）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
30	経済福祉常任委員会意見の手交	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○
30	総務教育常任委員会意見の手交	－	－	○	－	－	－	－	－	○	○
9月1日	前田衆議員とのスルメ加工に係る意見交換会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
7	一般質問通告	－	○	○	－	－	○	－	－	－	○
7	議会運営委員会	－	○	○	○	－	○	－	○	職	職
8	渡島西部広域事務組合第2回定例会	－	－	－	○	－	－	○	－	－	○
10	函館駐屯地創立67周年記念式典（函館市）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
12	議員勉強会	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
15～22	定例会9月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	秋の交通安全大会・祈願祭	－	－	○	－	－	－	－	○	－	○
23	福島町敬老会	○	○	－	○	○	○	－	○	○	○
29	福島町製氷貯氷施設竣工式	○	○	－	○	－	○	○	－	○	－
10月1日	知内町町制施行50周年記念式典（知内町）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
1	第33回カントリーフェスティバル	－	－	○	－	○	－	－	○	○	－
2	議会運営委員会報告書手交	－	－	－	－	－	○	－	－	○	○
3	岩手県普代村行政視察受入れ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
6	議会運営委員会	－	○	○	○	－	○	－	○	職	職

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	杉 村	滝 川	川 村	花 田	木 村	平 沼	佐 藤	熊 野	平 野	溝 部
10月6日	定例会10月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	「はこだて福島会」総会（函館市）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	第53回福島中学校学校祭	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○
10	第3回議会基本条例諮問会議	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○
14	福島小学校学習発表会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	渡島廃棄物処理広域連合議会運営委員会（北斗市）	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
17	渡島管内市町議会議員研修会（北斗市）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	高齢者ふれあいスポーツ大会	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○
23	経済福祉常任委員会（町内視察）	○	-	-	○	-	○	-	○	○	○
24	渡島廃棄物処理広域連合議会全員協議会及び第2回定例会（北斗市）	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-
25	経済福祉常任委員会（執行方針の取組み状況）	○	-	-	○	-	○	-	○	○	○
26	総務教育常任委員会（町内視察・執行方針）	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
29	吉岡小学校学習発表会	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○
30	総務教育常任委員会（事務事業評価）	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
31	経済福祉常任委員会（事務事業評価）	○	-	-	○	-	○	-	○	○	○
11月3日	福島町表彰式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	第35回南北海道駅伝競走大会	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○
8	総務教育常任委員会（総合計画ローリング）	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○
9	経済福祉常任委員会（総合計画ローリング）	○	-	-	○	-	○	-	○	○	○
10	渡島町村会総会懇談会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
11	松前町観光協会70周年記念式典	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
12	福島町町民文化祭	-	○	○	○	○	-	○	○	-	○
12	認定こども園福島保育所おゆうぎ会	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
14	過疎地域自立地促進連盟定期総会（東京都）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
16	高規格松前半島道路要望（国土交通省）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
17	山形県河北町議会行政視察受入れ	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○
17	議会運営委員会（議会だより）	-	○	○	○	-	○	-	○	職	職
20	地方自治法施行70周年記念式典（東京都）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
22	第61回町村議会議長全国大会（東京都）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
24	江差町議会行政視察受入れ	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○
28	総務教育常任委員会（仮称 町郷土資料館）	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○

25 福島町議会だより

町民の声

福島町で漁師に



工藤 智矢さん

私は、帯広で父と共に測量の仕事をしていましたが、数年前より福島町の祖父と叔父、そして従兄弟の元で、高齢になった祖父の跡をついで、いつか漁師になるために昆布養殖漁業に従事してきました。祖父から昆布養殖の技術を十分に教わり漁師になるつもりでいましたが、元氣だった祖父が、突然亡くなり、すぐに漁師になることを決意し、叔父に相談したところ、漁師になるための補助を受けられることを知り、福島町農林水産担い手支援事業を活用させていただきました。

実際やってみると漁業は難しく大変ですが、いつか祖父のような立派な漁師になつて、福島町の漁業を守っていきたいと思いますので、町内の皆さん、これからよろしくお願ひします。



議員の雑感

夢の第2青函トンネル 構想実現へ



副議長
平野 隆雄

現在、青函トンネルを含めた貨物列車の共用走行区間は時速140kmに制限されています。第2青函トンネル構想が実現すると新幹線は時速260kmの高速走行が可能となり東京・新函館間は3時間台で結ばれます。第2青函トンネル構想は、トラック等を直接積み込めるカートレインと貨物列車の共用トンネルを先行して建設し、次に自動運転走行車の普及などを考慮に入れながら無人自動運転専用トンネルも可能とのことです。新幹線の札幌延伸も決まり、北海道が食糧基地としての役割を十分に発揮できるものと思えます。

現青函トンネルの長さは54kmですが、第2青函トンネル構想では、30kmと大幅に短縮され白符付近が出入り口とのこと、当町の活性化のためにも構想実現に向けて国、関係機関への強力な要望活動を行いたいと思います。

議会の主な会議予定

※変更・追加となる場合もあります。

12月6日(水)	議会運営委員会 ・定例会12月会議の運営ほか	午後3時 ~ 委員会室
13日(水)~15日(金)	定例会12月会議	午前10時 ~ 議会議場
15日(金)	国保の北海道広域化に関する調査特別委員会	午前10時~
21日(木)	総務教育常任委員会所管調査 ・公共施設等総合管理計画及び町内会館の再編計画について	午前10時 ~ 議会議場
22日(金)	経済福祉常任委員会所管調査 ・公共的団体の総合調整について ・福島町小規模企業振興条例の制定について	午前10時 ~ 議会議場

編集後記



福島町の紅葉も見ごろを終え、千軒岳も冠雪、残すところ一ヶ月となり、残すところ、皆様にとつての一年は、いかがでしたでしょうか。福島町の今年を振り返りますと、昨年のような春の爆弾低気圧もなく、9月の台風18号による大きな被害もなく、平穏な一年であったと思います。

今年の漁模様は、養殖昆布やマグロ漁は、順調でし揚げが少なく、鮮魚の水揚げが少なく、厳しかったようです。

農家では、8月に少し日照不足で心配しましたが、水稲は平年並みの収穫だったようです。

朝晩の冷え込みが厳しくなつてきました。お体ご自愛の上、来る年を健やかに迎えてください。

今回は、9月会議を中心とした「議会だより第115号」をお届けしました。



北方領土返還要求運動シンボル
「千島桜」